

今回は、あらたに始まったFRH事業の紹介をします！

◇ 主題： 地域共創フラッグシップハイスクール（FRH）とは何か？

FRH事業は、岐阜県教育委員会の指定事業です。自治体・大学・企業等、外部機関と連携して、地域の課題を発見・解決する探究活動を通して、地域創生などの様々な分野で活躍できる人材の育成に取り組む高等学校を「地域共創フラッグシップハイスクール（FRH：Flagship of Regional co-creation High school）」に指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践、体制整備を一斉に進める事業として、令和元年度よりはじまりました。

◇ FRH事業の目的は？ ～ SGH事業との関わり ～

FRH事業は、地域課題を発見・解決する力、グローバル化に対応するコミュニケーション能力などの諸能力を身に付け、地域創生などの様々な分野で活躍できるリーダーを育成することを目的としています。令和2年4月現在、FRH指定校は、関、岐阜北、加納、長良、岐阜商業、大垣北、斐太、多治見北、可児の9校です。

県SGH事業は昨年度で終了しましたが、文科省SGHアソシエイト選定校としての活動は今年度も継続します。FRHの事業目的には「グローバル化への対応」「グローバルな視点からの地域課題の発見・解決」も盛り込まれていますので、SGH事業の基本構想や活動成果はFRH事業に受け継がれていきます。

◇ 地域課題とグローバル課題はどうかかわるか？

社会構造が大きく変わろうとしている今日、私たちの暮らす地域社会も、常にグローバル化の波にさらされています。地域の課題は、環境破壊、経済格差、国際紛争など、地球規模での解決が必要な諸課題と密接に結びついています。「持続可能な地域社会」を構築するためには、グローバルな視点や活動が必要不可欠です。

一方、グローバル社会を生き抜くためには、私たちが生活基盤としている地域のコミュニティを、よりしなやかで安全な組織に再生し、その持続を図らなければなりません。グローバル社会は、大中小さまざまな地域のコミュニティの集合体でもあるからです。

グローバルな視点で地域課題を考え行動する。地域の活動をグローバル課題の解決へとつないでいく。身近な地域社会とグローバル社会を分けて考えるのではなく不可分なものとして課題解決の道を模索する。関高校は、過去6年、そうした活動を続けてきました。この間、行政機関や大学、企業その他の外部機関や個人の方々との連携を進めてきました。

◇ 活動目標： グローバルな視野をもち、多分野で活躍できるリーダーの育成

関高 FRH 活動の目標は、**グローバルな視野をもち、多分野で活躍できるリーダーの育成**です。関高校には、活動目標達成に向けた様々なプログラムやスキル、外部とのネットワークがあります。関高生は今までどおり「総合的な探究の時間」に「課題解決型研究」に取り組み、個人の希望に応じて「地域貢献」や「国際交流」といった活動に参加できます。さらに、SGH・FRH 活動などで身に付けた様々な力、知識、体験を生かして、自身の将来を切り拓くための「キャリアプランニング」にチャレンジします。

SGH・FRH 活動では、課題発見・解決力、語学力・コミュニケーション力、異文化及び自国や地域の文化に対する理解、主体性、柔軟性、使命感といった能力や資質が必要とされますが、こうした能力・資質は、日々の授業を軸に、部活動・学校行事を通じて身に付けていくという方針が、活動目標達成に向けた関高校の基本姿勢です。